蒼穹NEWS No.3

七大戦展望号

―――

平成 15 年 7 月 17 日発行

―――

～～～　目　次　～～～

1. 主　将　挨　拶
2. 日本インカレ結果
3. 七大戦競技日程
4. 七大戦展望
5. 新入部員紹介
6. 記録会の結果など

主将挨拶

いよいよ七大戦となりました。

部員全員、二連覇に向けて集中して練習しています。

一部昇格を成し遂げた関西 I.C.のメンバーに一回生も多数戦力として加わりこの陣容なら必ずや二連覇を成し遂げられると思います。

本年は名古屋で行われますが、OB の皆様にはぜひとも当日競技場まで足を運んでいただき、いつも以上に選手を叱咤激励くださいますよう、お願い申し上げます。

京都大学陸上競技部主将　　寺田　智

杉本明洋　日本インカレ制覇！

天皇賜杯第７２回日本学生陸上競技対校選手権大会は、７月４日から３日間、横浜国際総合競技場で行われた。京大からは 10000m 競歩に杉本明洋(4)が出場、39 分 59 秒 82 の大会新記録で優勝した。

レースは大会最終日の７月６日、10:00 に 54 人でスタート。天候雨、気温２２度という涼しいコンディションだった。杉本は序盤、集団の内に入り、落ち着いてレースを進める。5000m で谷井孝行(日大 3)がペースを上げると、6000m からは杉本、谷井のマッチレースに。杉本がラスト 200m でスパートをかけ、谷井を振り切り、勝負を決めた。

京大生の日本インカレ制覇は昭和６３年の月山敦詞氏(三段跳 15m99)以来、15 年ぶりの快挙となる。

七大戦競技日程

７月２６日(土)　瑞穂北陸上競技場(オープンの部)

７月２７日(日)　瑞穂陸上競技場

9:30　　開会式

トラックの部			
10:00	男子	３０００mSC	(決)
10:20	男子	４００m	(予)
10:45	男子	１１０mH	(予)
11:00	女子	１００m	(予)
11:10	男子	１００m	(予)
11:30	男子	１５００m	(決)
11:55	男子	４００m	(決)
12:10	男子	１１０mH	(決)
12:20	女子	１００m	(決)
12:30	男子	１００m	(決)
12:50	女子	８００m	(決)
13:00	男子	８００m	(予)
13:20	男子	４００mH	(予)
13:40	女子	４００m	(予)
13:50	男子	２００m	(予)
14:10	女子	３０００m	(決)
14:40	男子	4×１００mR	(決)
15:00	男子	４００mH	(決)
15:10	女子	４００m	(決)
15:20	男子	８００m	(決)
15:40	男子	２００m	(決)
16:15	男子	５０００m	(決)
16:35	女子	4×１００mR	(決)
16:40	男子	4×４００mR	(決)

フィールドの部			
＜跳躍＞			
10:00	女子	走高跳	(決)
10:30	男子	棒高跳	(決)
11:10	男子	走幅跳	(決)
13:10	女子	走幅跳	(決)
13:30	男子	走高跳	(決)
14:30	男子	三段跳	(決)
＜投擲＞			
10:00	男子	円盤投	(決)
11:40	男子	砲丸投	(決)
13:00	男子	やり投	(決)
14:20	女子	砲丸投	(決)
15:00	男子	ハンマー投	(決)

17:00　　閉会式

交通アクセス

名古屋駅から市営桜通線で瑞穂運動場駅下車、徒歩 10-15 分

七大戦展望

(記録は大学での自己ベストを記載)

100m

花谷　直人 (4)　　11.05
北垣　　卓 (3)　　11.11
松井　延行 (2)　　11.01

100m にはこの 3 人が出場する。垣畑陽(3)が十種競技関西インカレ 1 部標準記録である 5600 点を越えたため、京大混成パートの将来を彼に託すこととなった花谷は、名実ともにスプリンターとなった。腰の調子が思わしくないが、実力さえ発揮できれば上位入賞も十分可能である。

北垣は先の滋賀選手権で自身のベストタイ記録 11 秒 11 を出しており、かなり好調である。長らくベスト更新のない彼であるが、師である総合人間学部自然環境学科助教授小田伸午氏のためにも、そろそろ 11 秒を切る走りをしなければならないだろう。

自慢の筋肉にさらに磨きがかかっている松井だが、先日再び非公認ながら 10 秒台をマークしており、その実力に疑いはない。関西インカレで見せた勝負強さからして上位入賞はおそらく間違いないが、それとともに公認記録で 10 秒台を出してもらいたいものである。

200m

藤井　章輔 (3)　　22.13
北垣　　卓 (3)　　22.45
堀江　　匠 (2)　　22.56

100m の展望でも述べたように、北垣は非常に調子がよい。後半でうまくスピードを維持できればかなりよいタイムが期待できそうである。彼の結果がまさに小田伸午氏の唱える常歩理論の真価を問うことになるだろう。

怪我に悩まされてうまく実力を発揮できないでいた藤井であるが、最近になってかなり力が安定してきたように思われる。しかし再び脚の筋肉を傷めてしまっており、どれだけ本調子で走れるかは不明である。それでも実力は十分なので、堅実な結果を期待しよう。

生涯ベストとしては 22 秒 10 をもつ堀江も、最近になってかなり実力を取り戻しつつあるように見える。見た目はきゃしゃで頼りなさそうではあるが、根はしっかりしているので、生涯ベストに迫るパフォーマンスを見せてくれるだろう。

400m

西村　広展 (4)　　52.96
村地　優樹 (3)　　48.60
藤井　健輔 (3)

西村は入部当初から着実に記録を伸ばし続け、ついに七大出場を果たした努力家である。小柄で特に目の見張るものを持っている訳ではないが、その分堅実でそつのない走りをする。部内で人気者の彼には、さらに大きくベストを更新し、なんとしても決勝進出を果たしてもらいたい。

藤井章輔をいつも影で支え続けてきた藤井健輔であったが、ついに彼自身が表舞台に出るときが来た。実力は言うまでもないが、対抗戦は初出場である。緊張せずに落ち着いたレースをしてもらいたい。

関西インカレですばらしい走りを見せ、短長エースの地位を不動のものにした村地は、愚かなことに記録なしでエントリーをしたために、非常にレベルの高い組に入れられてしまった。しかし実力からして予選落ちするということはまず有り得ないので、予選で体力を使いすぎずにうまく決勝で全力を出してもらいたい。怪我が重なり練習は多く積めていないが、彼なら実力どおりの結果を残してくれるだろう。

800m

前田　昌也 (2)　　1.56.89
前川　真彦 (1)　　1.57.47
岡本　英也 (1)　　1.56.99

前田は今シーズンはじめにベストを出したがその後故障でずっと練習が出来なかった。だがきっちり七大に照準を絞りなおし、ここにきて練習をこなせてきている。やや調整不足は否めないが、ランキングでは上位に位置しており去年の七大での悔しさをぶつけてほしい。

岡本は今年入部した 1 回生だがすでに数回レースをこなし、先日の京都選手権では 1 分 56 秒 99 の好タイムを出している。高校時代は 55 秒台も出していた選手であり、大舞台での表彰台を狙ってほしい。

前川も今年入部の 1 回生。しかしながらすばらしいスピードと持久力を持っており、練習では短長パートも含め上回生たちを押さえ込むことも多い。まだまだ記

録の伸びる余地があり、七大戦の雰囲気の中でベストを出しての上位入賞を期待したい。

1500m

佐藤　章徳 (4)　　4.02.43
西村　好康 (3)　　3.54.05
渡　　寛法 (2)　　4.14.89

佐藤は 3 種目の出場となり疲労が心配されるが、今年に入って 1 日に多種目に出場する試合をいくつかこなし、経験を積んでいる。本人もそこで結果を出したことで自信を得ており、実力どおりの走りで入賞してくれるだろう。

西村は調子はいまいちながらも先日の京都選手権で 3 分 54 秒 05 のベストを出している。いつもながらの他者を寄せ付けない力強いレースを見せてくれるだろう。ランキングもダントツのトップとなり、勝って当然と思われてしまうのがエースのつらいところであるが、ここを涼しい顔で乗り切って真のエースとなってもらいたい。

渡は昨年から順調にタイムを伸ばし、選手枠を勝ち取った。現時点では得点は厳しいかもしれな

いが、七大の独特の雰囲気の中ぜひベスト更新を狙ってほしい。

5000m

佐藤　章徳 (4)　15.02.3
西村　好康 (3)　14.32.70
宮木　貴志 (2)　15.51.67

東北大学の橘が強い。しかし、記録の上では西村も負けておらず、おそらく二人のマッチレースとなる。そんな展開で西村が譲るはずはなく、必ずや着外に終わった昨年の借りを返してくれるだろう。

佐藤は当日 3 本目のレースとなる。ベストの走りができて入賞圏内に入れるかどうかというところ。開き直って攻めのレースをしたい。

宮木は期待の 2 回生である。最近の練習ではますます強さを見せるようになっており、課題はレースでもその力を出しきれるかである。

110mH

佐藤真一郎 (4)　14.85
尾崎　禎亮 (3)　15.48
白方　朗文 (1)　16.95

京都選手権で 14 秒 85 とベストを更新した佐藤は、京都インカレ以降はすべて 14 秒台と安定しており、優勝はほぼ間違いない。狙うは大会記録(14 秒 77)の更新である。唯一の懸念は、七大との相性が悪いことであろうか。3 年連続決勝進出・無得点(つまり 7 位か 8 位)の汚名を晴らすには、もはや大会記録更新しかない。とはいえ、くれぐれも予選で大会新、決勝で 7 位、などとはならないでもらいたい。これが有り得ない話ではないところが彼の恐ろしいところである。

尾崎は今シーズン絶不調であり、いまだ復活の雰囲気すら見せていない。ベストに近いパフォーマンスが出来れば決勝進出も可能だが、どれだけ実力を発揮できるかが問題である。

白方はまだまだ練習が積めていない状態ではあるが、高校時代では 15 秒 44 のタイムを持っており、これからが期待できる選手である。今後につながるレースをしてもらいたい。

400mH

藤森真一郎 (4)　59.52
西村　広展 (4)　60.38
水谷　太郎 (1)　53.34

藤森は常歩理論失敗による長いスランプからようやく脱出し、最近はかなり調子がよい。西村も京都選手権で 400m のベストを更新し、着実に実力をつけている。二人ともうまくいけば 57 秒台も圏内であり、レベルのあまり高くない今年の 400mH なら決勝進出も十分狙えるはずである。幹部学年として是非頑張ってもらいたい。

期待の新人である水谷は京都選手権にてあっさりと蒼穹記録を出してしまったが、それでもまだまだ本調子ではない。自身のベストである 51 秒 66 にどれだけ迫れるか楽しみである。彼のレセプションも楽しみである。

3000mSC

佐藤　章徳 (4)　9.07.25
大崎　友数 (3)　9.56.98

例年通り、トラックの最初の種目である。佐藤は一昨年、昨年と関西ＩＣ以降に調子を崩し、6 位、2 位と敗れている。ランキングは今年も断トツの 1 位であり、今年こそチームに流れを呼び込むためにも、独走での優勝が欲しい。

大崎は、関西ＩＣ、大阪選手権と後半失速するなど精彩を欠いており、本人も悩んでいたが、京都選手権では自己ベストに迫る走りを見せた。持ちタイム的には入賞に手が届いてもおかしくはない。なりふり構わず上位を目指してほしい。

4×100mR

米谷　健司 (5)　11.29
花谷　直人 (4)　11.05
北垣　　卓 (3)　11.11
藤井　章輔 (3)　11.24
松井　延行 (2)　11.01
石田　真大 (1)　11.30

藤井は脚の調子が思わしくないため、四継はおそらく松井、北垣、米谷、花谷のオーダー(走順はこの通り)で出場することになるだろう。

他大学に比べて全体の力がまとまっており、バトンさえ失敗しなければ優勝は間違いないだろう。仮にこの中の 1 人が故障などで抜けることになっても、補欠には自称 10 秒台スプリンターの新人石田が控えているので安心である。懸念があるとすれば、関西インカレの時と同様、今回もメンバー選考にて多少メンバー同士思惑の不一致があり、団結力に欠けるというところであろうか。しかしその関西インカレでは団結力の欠如とバトンパスの成功率には相関性がないことを証明しており、今回も問題はないと思われる。なんにせよ 2 走から 3 走のバトンパスがネックであるが、私情は挟まず勝負に徹してもらいたい。

4×400mR

花谷　直人 (3)　50.39
藤井　健輔 (3)
藤井　章輔 (3)　50.93
村地　優樹 (3)　48.60
堀江　　匠 (2)
水谷　太郎 (1)　50.42

タフな一応デカスリート・花谷、短長のコーチ役・藤井章輔、短長の頼りないエース・村地、「奇跡を待つより捨て身の努力」の水谷、というオーダー（走順は未定）で出場するだろう。
いつも四継に比べて力の劣るマイルリレーであったが、以前よりも全体のレベルは飛躍的に上昇している。4 人とも 400m を 50 秒切って走る力を持っており、おそらく 3 分 17 秒切りは確実であろう。マイルリレーの優勝候補・名古屋大学との名勝負が見られそうだ。

走高跳

渡邊　浩一 (4)　2m00
横矢龍之介 (2)　1m93
松久　佳弘 (1)

渡邉，横矢，それに新入生の松久で臨む。ここ数年七大における走高跳のレベルアップが著しいが京大はややそれに取り残された観がある。渡邉は最後に一花咲かせることができるか。横矢はままならぬ足首と折り合いをつけられるのか。松久は鮮烈なデビューを飾れるのか。阪大・東大・東北大の 2mジャンパーたちに一矢むくいたいところである。

棒高跳

垣畑　　陽 (3)　3m20
平野　　聖 (3)
森　　一 (3)

ここしばらく本職のいない棒高跳。マルチなはたらきで今期の棒高をも担っていた佐藤(真)は競技の兼ね合いからエントリーせず。しかし先に十種で高得点を記録した垣畑が更なるマルチぶりを発揮してくれることだろう。となると同回生の森も黙ってはいまいし，京大棒高パートの再建を見据えて参入の平野も今後への期待を膨らませてくれることだろう。

走幅跳

森　　一 (3)　6m02
垣畑　　陽 (3)　6m50
高橋　孝治 (1)　6m30

1 回生高橋，十種垣畑，本職森の 3 人が出場。それぞれ 6m半辺りの記録でもって 6m 後半の上位争いに殴り込みをかける。高橋のバネは折り紙つきであり，垣畑の勝負強さは証明済みであり，森の得体の知れなさは他大学を恐れさせるに十分である。前評判を覆すパフォーマンスを期待できるとしたらこの 3 人を措いて他にはいないだろう。

三段跳

佐藤真一郎 (4)　13m13
福山　大典 (3)　14m88
横矢龍之介 (2)　14m33

今シーズンここまで大活躍の福山を筆頭に大量得点を期待したい三段跳。東大・阪大もそれぞれ好選手を擁しており，厳しい戦いになることは必定であるが，本職に対する意気込み十分の横矢，思いもかけぬ跳躍力で出場の運びとなった佐藤ともども意気消沈気味のフィールドを一喝するパフォーマンスを見せてほしい。

砲丸投

河村　和彦 (4)　10m99
竹村顕大朗 (3)　12m55
森川　陽介 (1)

砲丸投げは上位 2 名が 14mを越えておりここに勝つのは厳しいかもしれないが、竹村は 3 位は十分に狙える位置におり、是非とも表彰台を狙って欲しい。今年は春から調子も良くベストを更新しているだけに今回は 13mを越えていきたい。
河村は 11mは安定して投げられており、確実にベスト 8 に残って得点を狙っていきたい。
1 回生の森川はこの試合がデビュー戦となる。一般用の砲丸の重さにまだ慣れていないようではあるが、練習はしっかり積めてきており十分記録を狙えそうである。
3 人ともベスト 8 に残り得点をとれる可能性があり楽しみな種目である。

円盤投

河村　和彦 (4)　33m26
森川　陽介 (1)
吉﨑　圭祐 (1)

円盤投げは上位 2 名がとびぬけているが、それ以降は混戦が予想される。
河村は最近になりようやく調子が戻りつつあり、ベストを出して少しでも上の順位を狙っていきたい。
高校から円盤投げを専門にやっている 1 回生の吉崎は、故障がちでまだ本調子とはいえない状態であり、また一般用の重さに慣れていないようではあるがなんとか調子を上げていって欲しい。
同じく 1 回生の森川は、専門は砲丸投げであり円盤投げは初挑戦ではあるがここで好記録をだし、続く砲丸投げに繋げていって欲しい。

ハンマー投

河村　和彦 (4)　44m85
木村　克也 (2)　32m43
田中　聡一 (1)

河村は今季はまだ低迷しており思うように記録がでていない状況ではあるが、なんとか調子を上げていって優勝を狙っていきたい。最後の七大戦でありなんとしても記録、順位ともに出したいところである。

木村は最近は練習で 35mラインを越えることも多く、十分入賞できる位置にいる。ベストを出して上位を目指して欲しい。
1 回生の田中はまだハンマー投げを始めたばかりでありこれが初試合になるが、うまくいけばベスト 8 に残れる可能性もあるので是非とも頑張って欲しい。

やり投

垣畑　　陽 (3)　　48m42
真鍋　文朗 (3)　　33m97
松田　　俊 (2)　　47m73

垣畑はやり投げ初試合でしかも十種競技で 48mを投げている。今回も多種目出場で忙しい身ではあるが、ある程度種目を絞りやり投げに専念する。タイミングがあえば 50mを越えそうなのでそうなれば十分入賞は可能である。
松田は練習もしっかり積めてきており記録を狙えそうである。高校ベストは 50mを越えているのでベストをだして入賞を狙って欲しい。
真鍋は記録はまだ出ていないが練習はしっかりできているのでいつ記録がでてもおかしくない。ここでベストを大幅更新していきたいところである。

女子100m

北川　佳奈 (3)　　14.12
海野　益代 (1)

女子 100m にはこの 2 人が出場する。趣味である四葉のクローバー集めも順調な機運上昇気味の北川は、練習ではかなり走れるようになってきており、大学ベストを更新するのはまず間違いない。もともと力のある選手なので、上位陣を揺るがす走りを期待したい。
農 G 選考会にて見事下克上を果たした海野は、小柄でありながらパワーのある走りをする有望な選手である。今回が大学デビュー戦でありどれだけ戦えるかは未知数ではあるが、隆々とした走りを見せてくれるだろう。

女子800m

山下　里絵 (3)　　2.36.24
岩瀬　祥子 (3)　　2.36.25

今年は入賞ラインが例年よりやや低くなりそうである。岩瀬は春にベストを更新して以来、練習は積めているものの記録になかなか結びついていない。七大の大舞台で停滞している現状を打ち破り、大幅なベスト更新をめざしてほしい。山下は 800 のレースにはあまり慣れていないが実力ある選手。生涯ベストが出せれば入賞の可能性もあるので、積極的なレースを期待したい。

女子3000m

田端亜衣子 (4)　　11.17.62
中村奈都子 (3)　　11.25.7

今大会、3000m は女子唯一の長距離種目である。
田端は、6 月に教育実習の期間があったが、ポイントポイントできっちり練習をこなせている。持ち前の根性を発揮し、約 1 年振りの自己ベストとともに、上位争いに食い込んでほしい。
中村は、ここにきて座骨神経痛を発症し、出場すら微妙な状況になってしまった。練習自体は順調に積めてきていたので、出場できる状態にまで回復すれば結果は残せるはずだが、体と相談しながらぎりぎりの調整が続く。

女子 4×100mR

北川　佳奈 (3)　　14.12
滝上　伸子 (3)　　14.21
山下　里絵 (3)
岩瀬　祥子 (3)
海野　益代 (1)

オーダーは北川、滝上、山下、海野(走順は未定）となる予定である。
今年も短距離選手のみでそろえることが出来なかったが、4 人目の選手を農 G 選考会で決めるほど意気込みは十分である。他大学に対抗するのは正直難しいかもしれないが、少しでも他大学に迫るレースをしてもらいたい。

女子走幅跳

北川　佳奈 (3)　　4m89

北川が出場。グラウンドでもこのところ「北川のハードルがよくなった」との評判で，とすれば幅跳もよくなっていないはずがない。関西インカレでは強豪ぞろいの中苦しい戦いとなったが，今回は十分戦えるであろうし，元気のいい後輩も入ったことだからひとついいところを見せてほしい。

女子砲丸投

北川　佳奈 (3)

北川は障害と跳躍を専門にしているが、今回は砲丸にも挑戦する。女子の砲丸投はどの大学も層が薄いため、うまく記録を残せれば上位に食い込む可能性が十分にある。技術的にはまだ未熟だが、一発ひっかけて 4 位入賞を果たしてほしい。

新入部員紹介

1 回生

名前	学部	出身校	性別	種目	高校ベスト(投擲は高校規格)
石田　真大	農	洛星(京都)	男	短	100m 11.17
海野　益代	医短	時習館(愛知)	女	跳･短	走幅跳 5m07
岡本　英也	総人	県立浦和(埼玉)	男	中	800m 1.55.83
加藤　圭祐	工	多治見北(岐阜)	男	長	
北島　明文	工	県立前橋(群馬)	男	跳	
木村　祐介	農	向陽(愛知)	男	長	
熊野　　葵	農	大教大天王寺(大阪)	女	マネ	
桑原　　昇	文	桐朋(東京)	男	中	800m 2.04.79
小宮山衣美	医短	時習館(愛知)	女	マネ	
佐久間美奈	京女	清教学園(大阪)	女	マネ	
白方　朗史	文	東大寺(奈良)	男	短	100m 11.27　110mH 15.44
高橋　孝治	農	大手前(大阪)	男	跳	走幅跳 6m65
田中　聡一	工	旭丘(愛知)	男	投	砲丸投 11m46　円盤投 32m
田中　裕介	理	東大寺(奈良)	男	長	5000m 16.29　1500m 4.17
中尾　太郎	法	星光(大阪)	男	短	400m 52.2
西田　　尊	工	岸和田(大阪)	男	長	5000m 17.34
細尾　萌子	教育	同志社(京都)	女	長	
前川　真彦	総人	天王寺(大阪)	男	中	800m 1.57.2　400mH 56.08
松久　佳弘	工	岐山(岐阜)	男	跳	走高跳 1m78
水谷　太郎	農	相生(兵庫)	男	短	400mH 51.66　400m 48.50
光安　　裕	医短	福岡大大濠(福岡)	男	長	
森川　陽介	文	大教大天王寺(大阪)	男	投	砲丸投 13m58
山本　　直	法	山口(山口)	男	長	5000m 16.52.04
吉﨑　敬祐	法	熊本(熊本)	男	投	円盤投 39m90

2 回生

越智　昭仁	総人	大手前(大阪)	男	短	100m 11.5　400m 52.2
富永　良太	農	巣鴨(東京)	男	長	

大学院生

相澤　泰隆	理	新潟大学	男	長	5000m 15.57

個人戦・記録会などの結果

(5月２５日～7月１３日)

１１０mH、４００mH、１００００mWで京大新記録誕生！

第２回奈良市記録会(5/25 鴻池)

▼100m

北垣　卓	11.16	+1.1	
花谷　直人	11.24	+1.1	
松井　延行	11.65	-0.6	

▼200m

北垣　卓	22.57	+1.2	
松井　延行	23.31	+1.2	

▼棒高跳

花谷　直人	2m80		

枚方総合体育大会(5/25 枚方)

▼走幅跳

高橋　孝治	6m30	0.0	CB

▼やり投

高橋　孝治	35m56		CB

第２回学連記録会(5/31-6/1 西京極)

▼100m

石田　真大	11.33	0.0	CB
北垣　卓	11.33	0.0	
瀬々井巌士	11.52	+0.1	
佐藤真一郎	11.59	+0.5	PB
山岸　公彦	11.96	-0.3	

▼200m

藤井　章輔	22.13	+0.9	CB⑲
北垣　卓	22.47	+2.7	
堀江　匠	22.56	+1.9	CB
瀬々井巌士	23.26	+1.0	CB
藤井　健輔	23.48	+0.9	
山岸　公彦	23.96	+0.4	CB
磯島　弘	24.00	-0.1	PB
浜田　良太	24.14	-0.3	
寺田　悟	24.30	-0.1	
寺田　智	24.43	-0.1	PB
河野　良	24.70	+3.1	
佐藤　章徳	26.27	-0.1	PB

▼400m

花谷　直人	50.67		
藤森真一郎	53.12		PB
西村　広展	53.20		PB
桑原　昇	54.56		CB

▼800m

前川　真彦	1.57.47		CB
西村　好康	1.57.88		PB
佐藤　章徳	2.00.21		PB
三好　達也	2.03.83		CB
背戸　和寿	2.06.45		
水井　研吾	2.07.57		

▼1500m

背戸　和寿	4.19.59		PB

▼5000m

佐藤　章徳	16.04.38		
菅原　健志	16.26.65		CB
背戸　和寿	16.39.31		
相澤　泰隆	16.47.20		
宇部　達	16.51.09		
吉田　寛幸	16.51.10		
山城　丈	17.04.36		
石塚　晶啓	17.29.98		
福原　徹彦	17.37.64		

▼10000m

宮木　貴志	34.15.32		

▼110mH

尾崎　禎亮	15.69	+1.5	

▼400mH

水谷　太郎	54.19		CB⑤
前川　真彦	56.20		CB
磯島　弘	58.43		PB
藤森真一郎	59.52		PB
西村　広展	66.05		

▼3000mSC

佐藤　章徳	9.27.76		
寺田　悟	13.00.32		PB

▼走幅跳

森　一	5m96	-0.2	

▼三段跳

粟村　聡資	13m95	+0.6	
佐藤真一郎	13m13	+0.4	
福山　大典	記録なし		

▼やり投

松田　俊	記録なし		

▽女子 100m

北川　佳奈	14.12	+2.0	CB

▽女子 800m

岩瀬　祥子	2.41.35		

▽女子 3000m

田端亜衣子	11.16.88		
山下　里絵	11.52.81		
中村奈都子	12.05.29		

▽女子 100mH

北川　佳奈	18.11	+1.8	

▽女子 4×100mR

北川-滝上-岩瀬-溜	57.84		

兵庫実業団記録会(6/14 尼崎)

▼1500m

岡本　英也	4.08.64		PB

▼5000m

西村　好康	14.32.70		PB②
山﨑　圭介	15.34.83		
佐藤　章徳	15.50.61		
宮木　貴志	15.51.67		PB
丸吉　繁一	16.07.66		
菅原　健志	16.11.19		PB
渡辺　敬宏	16.28.33		
相澤　泰隆	16.29.18		
背戸　和寿	16.30.15		
山城　丈	16.40.60		PB
石塚　晶啓	16.47.56		

▽女子 3000m

岩瀬　祥子	11.37.78		PB⑨
山下　里絵	11.57.88		

名古屋大学・大阪大学対校オープンの部(6/22 金岡)

▼100m

花谷　直人	11.20	+0.7	
北垣　卓	11.37	+0.7	
瀬々井巌士	11.62	+0.5	
尾崎　禎亮	11.77	+0.8	
寺田　悟	12.04	+0.4	

▼400m

水谷　太郎	50.42		CB
藤森真一郎	53.46		
瀬々井巌士	54.01		CB
河野　良	55.38		

▼800m

岡本　英也	1.58.95		CB

桑原　昇　2.04.07　PB
水井　研吾　2.08.06
▼1500m
三好　達也　4.22.83　CB
▼110mH
尾崎　禎亮　16.00　+0.7
寺田　悟　16.52　+0.7
▼三段跳
粟村　聡資　13m57　0.0
▼砲丸投
花谷　直人　7m81

大阪選手権(6/28-29 長居)
▼100m
松井　延行　11.22　-0.1
北垣　卓　11.33　-0.7
▼200m
北垣　卓　22.58　0.0
▼400m
村地　優樹　50.84
▼800m
前川　真彦　(予) 1.59.01
(準) 1.58.76
寺田　智　2.01.98
▼110mH
尾崎　禎亮　15.78　-0.4
▼3000mSC
佐藤　章徳　３位 9.10.88
大崎　友数　10.15.79
▼三段跳
粟村　聡資　13m76　+1.3
▼十種競技
垣畑　陽　４位 5635 点　PB⑤
佐藤真一郎　６位 5311 点　PB⑩

第１回宇治市陸協記録会(6/28 山城)
▼100m
石田　真大　11.30　-1.3　CB
浜田　良太　11.97　-0.1
山岸　公彦　11.97　-0.1
米谷　健司　12.13　-1.3
平野　聖　12.23　-0.1
河野　良　12.42　-0.4
▼800m
三好　達也　2.05.02
▼5000m
福原　徹彦　17.23.07
▽女子 100m
北川　佳奈　14.42　-1.3
滝上　伸子　15.07　?
▽女子 800m
山下　里絵　2.37.28
岩瀬　祥子　2.42.41

兵庫選手権(6/29 神戸ユニバ)
▼4×400mR
藤井(健)-藤井(章)-堀江-水谷
3.21.04

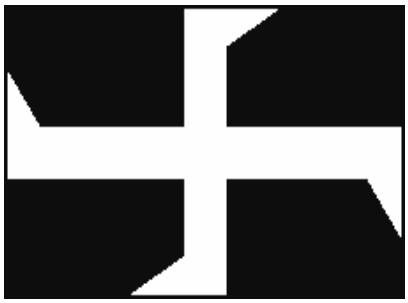
北海道サロマ湖 100km マラソン
▼100km
背戸　和寿　７位 7.45.48　PB①
吉田　寛幸　10 位 7.55.30　PB②

日本インカレ(7/4-6 横浜国際)
▼10000mW
杉本　明洋　１位 39.59.82　京大新

京都選手権(7/11-13 西京極)
▼100m
石田　真大　11.34　-0.9
▼400m
西村　広展　52.96　PB
▼800m
岡本　英也　(予) 2.00.23
(準) 1.56.99　CB
三好　達也　(予) 2.03.11
(準) 2.02.45　CB
寺田　智　2.01.37
水井　研吾　2.08.93
▼1500m
西村　好康　８位 3.54.05　PB③
佐藤　章徳　4.05.75
▼5000m
西村　好康　15.06.31
▼10000m
渡辺　敬宏　34.42.64
▼110mH
佐藤真一郎　(予) 14.92　+0.5
(準) 14.85　+0.1　京大新
尾崎　禎亮　16.44　+0.5
▼400mH
水谷　太郎　(予) 53.86
４位 53.34　京大新
寺田　悟　56.23
藤森真一郎　62.82
▼3000mSC
佐藤　章徳　３位 9.17.72
山崎　圭介　9.50.87
大崎　友数　9.58.05
▼5000mW
杉本　明洋　１位 21.12.55
▼三段跳
福山　大典　２位 14m73　+0.4
粟村　聡資　13m54　0.0
▼十種競技
垣畑　陽　5393

滋賀選手権(7/12-13 皇子山)
▼100m
北垣　卓　(予) 11.35　-0.5
(準) 11.11　0.0　PB
米谷　健司　11.67　-1.1
山岸　公彦　11.73　+0.1
平野　聖　12.24　0.0
▼400m
藤森真一郎　(予) 53.36
(準) 53.37
▼800m
桑原　昇　(予) 2.07.68
(準) 2.05.81
▼110mH
白方　朗文　16.95
▼3000mSC
福原　徹彦　10.27.25　PB

記号の見方
▼：男子種目　▽：女子種目
PB：自己新記録
CB：大学における自己新記録
○：京大歴代ランク
(記録を出した時点、２０位まで)



蒼穹ニュース　平成１５年度　第３号
平成１５年７月１７日　発行

発行所：京都大学体育会陸上競技部
編集者：宇部達・瀬々井巌士・渡寛法（副務）
特別協力：森一・田中齊太郎（学連員）・滝上伸子（体育会員）
山田修裕（記録係）・山下輝芳（HP 係）
写真担当：杉本昌大・堀江匠・木村克也

陸上競技部 HP　http://www.geocities.co.jp/Athlete-Samos/2360/
蒼穹ニュース HP　http://www.geocities.co.jp/Athlete-Samos/2360/soukyu.htm
陸上競技部記録 HP　http://homepage2.nifty.com/bridge-as/
関西学連 HP　http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm
メールアドレス　tak.sesei.jk6esj@siren.ocn.ne.jp（瀬々井）